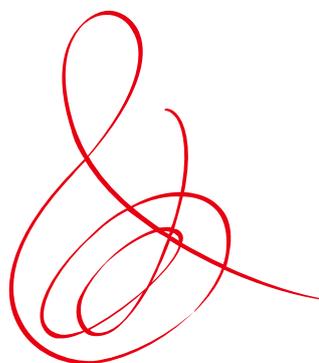


*Christel Vie Ensemble
Foundation*

ニュースレター 2022



Christel
Vie Ensemble
Foundation

一般財団法人 クリステル・ヴィ・アンサンブル



一般財団法人 クリステル・ヴィ・アンサンブル 代表理事 滝川クリステルからのご挨拶

2022.12

2022年も一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンブルにご賛同、ご支援いただき、誠にありがとうございます。今年もこの機会を通じて、皆様深く御礼を申し上げます。今年もこの機会を通じて、皆様深く御礼を申し上げます。

2022年は、新型コロナウイルス感染症の存在を認識しながらも前に進む、“ウィズコロナ”そして“ポストコロナ”がより意識された1年であったように思います。

2022年4月、暴力を振るう等の積極的虐待だけでなく、ペットの遺棄、そして劣悪な環境で飼育する等のいわゆるネグレクトも含む「動物虐待」を理由として警察が2021年に検挙した件数が発表されましたが、計170件と、前年比68件増、統計のある2010年以降で最多となりました。

検挙数の増加は、動物愛護管理法の改正により適切な飼育の定義がより具体的になったことや社会の意識が高まったこと等が理由であると考えています。ただ、残念ながら、まだまだこの数は氷山の一角にすぎないとも言われています。動物虐待は犯罪であること、そして暴力や遺棄だけでなく、適切な飼育をしないことも虐待となることを、今後も強く訴えていきたいと思っています。

動物と共に暮らすということは、私たち人間が癒やしやぬくもりを与えてもらうだけでなく、彼らのアニマルウェルフェアをいかに担保するのか、自分の身に万が一の事が起こった場合、代わりに誰に託すのか、地震等の非常事態が起きたときにどうするのか、“飼い主として”、そして、“家族として”の責任が試されるということです。シニアの大型犬と共に暮らす私にとっても、これは大きな課題です。そういったことも慎重に考えた上で家族となる決断をする、当たり前だと思われる方が多いとは思いますが、たとえ一部であってもそれができない人が存在するからこそ、遺棄等の問題は発生し続けています。

今年も、多頭飼育崩壊等、不適切な環境での飼育に関するニュースを耳にする機会が特に多かった気がします。少子高齢化・核家族化が進む中で、コロナ禍でさらに周囲との付き合いが減ってしまったからこそ多発する問題でもあり、動物虐待問題は、まさに、現代社会が抱える問題を強く映し出しているように感じています。動物虐待は、動物との関わりだけ

でなく、人と人とのつながり等も含めて包括的に考え解決すべき問題です。いつか、かなしいニュースを耳にしなくてすむように、私たちは活動を続けていきます。

動物虐待のない社会は、きっと、皆が“相手”に対し思いやりを持っている社会でもあります。私たちは、子どもの頃から動物とふれあう経験は、そういった社会を作る上で大切な要素となるのではないかと考えました。また、シリアスになりがちな虐待問題に関する啓発活動を、私たちらしく前向きな形で実施できないかとも考えました。そして、2022年11月、暴力のない社会を目指すProject SOSにおける啓発活動として、代官山 蔦屋書店さんにて、公益社団法人 日本動物病院協会さんとともに読書犬普及プロジェクト「どくしょ犬って知ってる？」を発表しました。参加してくれた子どもたちやご家族の反応を見て、本プロジェクトの可能性と動物のもつチカラを感じています。来年以降、少しずつですが本格的に活動をスタートしてまいります。

犬猫の殺処分問題に取り組むことに加え、アニマルウェルフェアの満たされない犬猫ゼロを目指すProject Zeroでは、協力動物病院において医療行為を受けた保護犬猫の医療費を補助する「保護犬猫支援基金」が2年目を迎えました。設立時には7病院であった協力動物病院も今年10月より9病院になりました。スポンサーそして協力動物病院の皆様へ心より御礼申し上げます。

12月7日より、カナダ・モントリオールで生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）が開催されています。愛知目標の多くが未達成な中、次の10年の世界目標採択に向けどのような議論となるのか、昨年の気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）において投げかけられた、気候変動と生物多様性喪失を分けて考えることに対する疑問をうけて、より包括的かつ実効性のある目標の制定となるのか、注目しています。

Project Redのボルネオプロジェクトでは、寄附付きアクセサリーの販売を通してこれまで600万円近くの支援をしてまいりました。このお金は、ボルネオ保全トラスト・ジャパンさんに贈呈し、保護された野生のボルネオゾウの仔ゾウのミルク代や、ボルネオの動物たちの生活圏を維持・広げる

ための熱帯雨林の育林活動に活用されています。引き続き、アクセサリーはR Ethicalさんオンラインショップもしくはお店でも販売しております。（p.13参照）

観光業が大事な収入源でもあるボルネオ島は、コロナで大ダメージを受けていると聞きます。また、政府の方針等が大きく影響することも多いため注目していた11月のマレーシア総選挙ではどの政党も議席の過半数を獲得できないという結果となり、今後どのように変わっていくのか、非常にヤキモキしています。また、2022年1月にインドネシア国会が承認したインドネシアの首都移転による、ボルネオの自然への影響も懸念しています。どれだけ一生懸命に活動しても、必ずしも前に進むわけでない、解決するわけでないという難しさを感じています。ただ、だからといってここで支援を辞めるわけにはいきません。

Project Redで応援している猛禽類医学研究所さんが、現在クラウドファンディングにチャレンジしています。猛禽類医学研究所さんの活動には、財団設立当初より全面的に賛同しておりますが、特に、たとえ意図せずとも人間が傷つけてしまった結果、野生に帰れなくなってしまった猛禽類（終生飼育個体）達のウェルフェアをいかに担保するか、これは私たちのProject Zeroの活動とも通じるものがあり、今後さらなる協力ができないか考えていきたいと思っています。

私たち人間が今後も豊かな環境の中で暮らしていくには、何をすべきなのか、私たち人間の責任について、COP15で決まる次の10年の世界目標も意識しながら、来年はこれまで以上に考え、行動に移していきたいと考えています。

私たちが目指す、暴力のない社会の実現、アニマルウェルフェアの向上・犬猫の殺処分の低減、そして野生動物保護・生物多様性保全。今後も、この、ワンヘルス・ワンウェルフェア（人間の健康や豊かな暮らしは、動物達のウェルフェア、そして環境の健全性・持続可能性と相互に関係しているという概念）にも通じる大きな目標の実現に向け、皆様と共に、様々な形でチャレンジを続けていきたいと思っています。来年も皆様の温かいご支援、ご賛同をよろしくお願い申し上げます。

代表理事 滝川クリステル



Panel for Life

～命のパネル～



Panel for Lifeとは？

等身大の保護犬猫パネルを様々な場所に設置することで、より多くの方々に保護犬・保護猫の存在を周知し、新しい家族を迎え入れていただく機会を提案しています。犬猫パネルにはQRコードがついており、スマートフォンで読み取ると、専用HPにリンクし、保護犬猫の情報が閲覧できる仕組みとなっています。

181の団体様に設置のご協力をいただき、北は北海道から南は沖縄まで、のべ1,215枚のパネルを設置いただきました！

Panel for Lifeインスタグラム (@panelforlife) で紹介しています！



エピソード募集中！

保護犬・保護猫を引き取られた方のエピソードや、動画・写真を募集しております。

インスタグラム#panelforlifeにてご投稿、もしくはinfo@christelfoundation.orgまでご連絡ください。

※頂いた動画・写真は、当財団のSNS等でご紹介させていただきます場合もございます。



Panel for Life の活動の応援方法

以下の4つの方法を通じて、Panel for Lifeの活動を応援いただけます。

寄附を通して応援

一口15,000円から承っております。

15,000円ご支援いただくと、特典として以下①②③のうちいずれかをお選びいただけます。

- ① 等身大の犬猫パネル 1体（計20種類よりお選びいただけます）
- ② 帽子パネルのみ 9枚（大中小3枚ずつ）
- ③ Panel for Lifeのステッカー 50枚

犬猫のパネルを設置して応援

原則、応援していただく皆様にパネルの制作費をご負担いただく形で、新品のパネルをお渡ししております。パネルの制作費は1体5,000円～7,000円程となっており、別途送料を頂戴しております。

Panel for Life動画を上映して応援

イベント等で上映いただける、Panel for Life動画のご用意がございます。是非、貴社／貴団体HPのURL、上映を予定されているイベント等の情報を添えてお問い合わせください。

HPにバナーをつけて応援

以下の公式バナーのご用意がございます。

是非、貴社／貴団体HPのURLを添えてお問い合わせください。



Panel for Life の仕組み

STEP 1



スマホをご用意

STEP 2



帽子に付いているQRコードにアクセス

STEP 3



専用サイトで保護犬猫の存在を知る

STEP 4



保護団体とやり取りし、譲渡条件が合えば保護犬猫を迎え入れる



2022年1月～6月 活動報告

- 1月** 7日（金）～ 【フォスターアカデミー】オンラインセミナー
第57回～60回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
12日（水）～ 【Amazon ポッドキャスト】EPISODE10-1～10-3が配信
23日（日） **朝日新聞 朝刊オピニオン面に代表理事 滝川クリステルのインタビュー記事が掲載**
- 2月** 2日（水）～ 【フォスターアカデミー】アドバンスプログラム
第35回～38回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
4日（金）～ 【フォスターアカデミー】オンラインセミナー
第61回～64回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
8日（火） **東京新聞朝刊 考える広場に代表理事 滝川クリステルのインタビュー記事が掲載**
9日（水）～ 【Amazon ポッドキャスト】EPISODE11-1～11-3が配信
14日（月） **保護犬猫支援基金の協力動物病院（らむどうぶつ病院）取材記録を公開**
- 3月** 2日（水）～ 【Amazon ポッドキャスト】EPISODE12-1～12-4が配信
2日（水）～ 【フォスターアカデミー】アドバンスプログラム
第39回～43回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
4日（金）～ 【フォスターアカデミー】オンラインセミナー
第65回～70回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
25日（金） リクエストのあった全国の小学校・児童館へ絵本無料配布を開始
30日（水） WELCOME PET CAMPAIGN第5版が完成、配布開始
- 4月** 1日（金）～ 【フォスターアカデミー】オンラインセミナー
第71回～75回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
6日（水）～ 【Amazon ポッドキャスト】EPISODE13-1～13-4が配信
8日（金） **保護犬猫支援基金の協力動物病院（大師前どうぶつ病院）取材記録を公開**
12日（火） 花やの六さんより、「petit rose～春の章～」が発売
27日（水） 【フォスターアカデミー】アドバンスプログラム
第44回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
- 5月** 4日（水）～ 【Amazon ポッドキャスト】EPISODE14-1～14-4が配信
4日（水）～ 【フォスターアカデミー】アドバンスプログラム
第45回～49回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
6日（金）～ 【フォスターアカデミー】オンラインセミナー
第76回～80回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
6日（金） 徹子の部屋に代表理事 滝川クリステルが出演
30日（月） **保護犬猫支援基金の協力動物病院（ペットスペース&アニマルクリニック まりも）取材記録を公開**
- 6月** 1日（水）～ 【フォスターアカデミー】アドバンスプログラム
第50回～54回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
3日（金）～ 【フォスターアカデミー】オンラインセミナー
第81回～85回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
8日（水）～ 【Amazon ポッドキャスト】EPISODE15-1～15-4が配信
10日（金） 絵本「きみには、きこえる？ -コロのきもち-」一般販売開始

2022年7月～12月 活動報告

- 7月** 1日(金) 雑誌『天然生活』の8月号に代表理事 滝川クリステルのインタビュー記事が掲載
1日(金) 【情報発信】炎天下のアスファルトについて
6日(水)～ 【フォスターアカデミー】アドバンスプログラム
第55回～58回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
15日(金) 【Amazon ポッドキャスト】配信休止
22日(金)～ 【フォスターアカデミー】オンラインセミナー
第86回～87回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
26日(火) 東京弁護士会にて開催の「人と動物の共生する社会について考えるー畜産動物を中心ー」に参加、活動レポートを公開
- 8月** 5日(金) 保護犬猫支援基金開始から1年間の実績レポートを公開
5日(金)～ 【フォスターアカデミー】オンラインセミナー
第88回～90回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
8日(月) 『VOCE』のネット記事に代表理事 滝川クリステルのインタビュー記事が掲載
10日(水) 花やの六さんより、「petit rose～夏の章～」が発売
17日(水) 日本動物福祉協会主催「シェルター・メディスン・セミナー～よりよい譲渡に向けて～」に参加、活動レポートを公開
20日(土) 三越伊勢丹グループ労働組合様主催のフォスターアカデミーを開催
31日(水) 【フォスターアカデミー】アドバンスプログラム
第59回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
- 9月** 2日(金) 雑誌『MORE』の10月号に代表理事 滝川クリステルのインタビュー記事が掲載
7日(水) 保護犬猫支援基金の協力動物病院 (JAMCシェルタークリニック) 取材記録を公開
9日(金) led tokyoにて、対象商品の売上の一部寄附が開始 (～2022年12月31日まで)
15日(木) ニールズヤードレメディース「Animal Welfare, No Cruelty -動物と共に心地よく暮らす世界へ-」キャンペーン開始 (～2022年9月26日(月)まで)
16日(金) 【フォスターアカデミー】オンラインセミナー
&30日(金) 第91回・92回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
20日(火)～ 動物愛護週間 SNS連続投稿
28日(水) 【フォスターアカデミー】アドバンスプログラム
第60回 supported byユニ・チャーム ペットを公開
- 10月** 1日(土) PINKY&DIANNE「ECO PLAY -地球環境に貢献する持続可能な参加型プロジェクト」が開始 (～2022年10月31日(月)まで)
7日(金) 花やの六さんより、「petit rose～秋の章～」が発売
12日(水) 雑誌『Qualitas』Vol.18に代表理事 滝川クリステルのインタビューが掲載
14日(金) 【情報発信】ペット防災について
19日(水) 【情報発信】ペットの健康診断について
20日(木) 読売KODOMO新聞に代表理事 滝川クリステルのインタビュー記事が掲載
- 11月** 10日(木) 代官山 蔦屋書店にて、新企画『どくしょ犬って知ってる?』発表会を開催
13日(日) RSPCA Paul Littlefair氏に取材
24日(木) WELCOME PET CAMPAIGN表紙犬猫コンテスト開始
30日(水) 新事務所へ移転
- 12月** 7日(水) 【情報発信】猫バンバンについて
23日(金) 日本獣医生命科学大学にてAnimal SOS Yahoo!ネット募金贈呈式を予定

様々な新聞に、代表理事 滝川クリステルのインタビュー記事が掲載されました

1月23日朝日新聞（朝刊オピニオン面）、2月8日 東京新聞朝刊（「考える広場」）、10月20日読売KODOMO新聞に、代表理事滝川クリステルのインタビュー記事が掲載されました。朝日新聞・東京新聞では、日本のアニマルウェルフェアをテーマに、読売KODOMO新聞では、滝川の幼少期の話や財団設立を決意した理由についてお話をしています。



保護犬猫支援基金 協力動物病院へ取材&記録を公開しました

保護犬猫支援基金の協力動物病院へ定期的に訪問し、当基金や動物保護活動全般について意見交換を行いました。2022年は、らむ動物病院、大師前どうぶつ病院、ペットスペース&アニマルクリニック、JAMCシェルタークリニックの4病院に伺いました。



絵本「きみには、きこえる？ - コロのきもち -」の一般販売が開始されました

沢山のご要望をいただき、産経新聞のECサイト（産経iD）で、絵本の販売を開始しました。代表理事の滝川と制作に関わった全員の虐待防止への思いがこもった絵本です。諸経費を除いた絵本の収益は財団を通じて動物たちの為に使われます。



様々なメディアに、代表理事 滝川クリステルのインタビュー記事が掲載されました

天然生活8月号、8月8・9日VOCEネット記事、MORE10月号、Qualitasvol.18に、代表理事滝川クリステルのインタビュー記事が掲載されました。アリスとの日々やアニマルウェルフェア、滝川が目指す“人間と動物の共生”についてお話をしています。



SNSやHPでの情報発信、強化しています

“炎天下のアスファルト”や“猫バンバン”といった季節にちなんだ注意喚起や、他にも“ペット防災”や“定期的な健康診断の大切さ”について情報発信を行いました。これからも、啓発団体として皆様と一緒に考えられる様々な情報を発信し続けていきたいと思っております。



活動レポート公開、はじめました

実は様々なセミナーに参加しております。2022年は参加したもののうち、弁護士会館にて開催された「人と動物の共生する社会について考える - 畜産動物を中心に - 」と、日本動物福祉協会主催の「シェルター・メディスン・セミナー〜よりよい譲渡に向けて〜」の2つを活動レポートという形で公開いたしました。今後も情報発信していきますので、楽しみに！



保護犬猫支援基金設立から 1年が経ちました

2021年7月より、保護犬猫1頭につき5,000円の医療費補助を行う、保護犬猫支援基金が開始し、1年が経ちました。2021年7月1日から2022年6月30日までの期間、当基金を通じて医療費補助を受けた保護犬猫は、計587頭となりました。2022年5月末時点の運営実績および課題についてまとめたものを公開しています。



三越伊勢丹グループ労働組合様主催の フォスターアカデミーを開催しました

茨城県つくば市にある認定NPO法人キドックス様ご協力のもと、三越伊勢丹グループ労働組合様主催のフォスターアカデミーを開催しました。今回のセミナーでは、保護犬達と触れ合ったり、クリステル財団やフォスターアカデミーについて紹介すると共に、キドックス代表理事の上山琴美さんが、現在の活動やこの先10年を掛けて取り組もうとされている地域のコミュニティ作りについて詳しく説明してくださいました。



新企画「どくしょ犬って知ってる？」を開催しました

11月10日(わんわんと一緒)、代官山 蔦屋書店様にて、公益社団法人日本動物病院協会様と共に、読書犬の普及を目的とした新企画「どくしょ犬って知ってる？」の発表会およびトークショーを開催いたしました。詳細は、p. 7-8をご覧ください。



RSPCAのPaul Littlefair氏に インタビューをしました

約200年の長い歴史を持つ、英国王立動物虐待防止協会(RSPCA)の国際部長Paul Littlefair氏にインタビューを行いました。インタビューの様子はWELCOME PET CAMPAIGN冊子の新版や、財団SNS・HPにて公開予定ですので、楽しみに！



コラボ寄附付き商品 常設取扱い 始めました

当財団では、ボルネオ島に住む野生動物たちを守るためのアクセサリを、R Ethicalさんとコラボレーションし、制作経費を除いた売上すべてを、ボルネオ保全トラスト・ジャパンさんに寄附し「植林プロジェクト」や「仔ゾウのミルク代」に充てていただいています。11月10日より、渋谷ヒカリエ1Fアクセサリセレクトショップ「Theatreux」にて常設取扱いしておりますので、ぜひ立ち寄りください。



ドクターカーの活動報告

ドクターカーの2022年の出動回数は、32回でした。既に死亡しているケースも少なくない状況の中、懸命な治療のもと、16羽の命が繋がりました。その他にも、ドクターカーは出張授業や調査研究のためにも活用いただいております。



年度	出動回数	救命羽数
2022	32	16
2021	30	12
2020	16	7
2019	20	13
2018	23	14

※ドクターカーとは、手術環境が整った車のことで、当財団が三越伊勢丹HDとのチャリティーで集まった寄附金を合わせて猛禽類医学研究所に2016年6月に寄贈しました。

新企画「どくしょ犬って知ってる？」を始動しました！

「どくしょ犬って知ってる？」とは



概要

「どくしょ犬って知ってる？」とは、当財団が、公益社団法人日本動物病院協会（以下、「JAHA」とする。）と共に、世界中で活動が行われている読書犬（※）を日本で広める企画です。（※読書犬の詳細は、本ページ中段をご覧ください。）
当企画は、クリステル財団が2021年7月に立ち上げたプロジェクトである、Project SOSにおける啓発活動の1つです。

活動内容について

まずは、子どもたちが、犬との正しい接し方を学習した上で、セラピー犬として活躍している犬たちを相手に、周りに邪魔されたり評価を受けない環境で本の読み聞かせを行う活動となります。この活動は、JAHAが従来行ってきた活動でもあります。ペット人気が堅調であるとはいえ、普段から動物と接する機会の少ない子どもも多い日本において、犬との正しい接し方を学習する時間を、読み聞かせを行う前にならず設けることは、当活動において非常に重要なポイントです。

目的

従来の読書犬の目的である読書・学習に対する意欲や自己肯定感を高めることに加え、読書犬とのふれあいを通じ、動物のぬくもりや命の尊さを学び、動物たちに対する思いやりの気持ちを育てることを目的としています。
また、当財団の活動スローガンであり、JAHAとも思いを一つにしている、動物と「共に、生きる。」社会の実現にむけた1つのかたちの提案でもあります。



読書犬とは

読書犬活動とは？

読書犬としての適性のある犬と子どもが対になり、子どもが人の評価を受けない環境で、犬に対して本を読み聞かせる活動です。1999年、米国の非営利団体Intermountain Therapy Animals が読書およびコミュニケーションスキルの向上、そして読書への意欲向上を目的として「R.E.A.D. プログラム」を始めました。子どもたちの読書パートナーとして、学校、図書館、書店等でボランティア活動をしています。現在では、世界一といわれる図書館を有し教育水準が高いことでも有名なフィンランドにおけるLukukoiraを始め、世界の多くの国で取り入れられている活動です。

読書犬の効果

読み間違い等を笑ったり、注意したりしない犬たちに読み聞かせることで、安心感や自己肯定感が芽生え自信につながる、そして読書の楽しさを理解する等の効果があるとされています。

“Intermountain Therapy Animalsによると、13か月間R.E.A.D. プログラムに参加したすべての小学生が2学年上レベルにレベルアップ。中には4学年レベルアップできた子どももいた”（Bueche,S. 2003）

読書犬は、どんな犬でもなれるわけではありません。まずは、健康面、安全面、性格面で適性が有ると判断されることが必要です。その上で、ハンドラーとのペアで、一定のトレーニングと評価を経て、信頼できるセラピー犬となるのです。



今後の活動について

今後の活動について

第一弾として、付加価値に重きをおいたサービスを提供しつづけている代官山 蔦屋書店様にご協力いただき、2022年11月10日に開始いたしました。11月10日のイベント詳細については、右ページをご覧ください。

そして、2023年春より、正式に活動を開始いたします。当面は都内での活動を予定していますが、全国に活動を広げていく予定です。詳細は、順次、財団HP、SNSにて公開いたしますので、お楽しみに！

お問い合わせ : info@christelfoundation.org

クリステル財団 どくしょ犬

検索

11月10日、代官山 蔦屋書店様にて、 新企画 “どくしょ犬って知ってる？”の発表会およびトークショーを開催！

概要について



2022年11月10日、代官山 蔦屋書店協力のもと、公益社団法人日本動物病院協会と共に、読書犬の普及を目的とした新企画 “どくしょ犬って知ってる？”の発表会およびトークショーを開催いたしました。

第一部では、代表理事 滝川クリステルによる事業説明および公益社団法人日本動物病院協会 理事 吉田尚子先生による読書犬の効果説明を行った後、実際に子どもたちそして読書犬と一緒に、犬とのふれあい方教室、そして読書犬デモンストレーションを行いました。第二部では、滝川クリステルが、モデルのSHIHOさん、代官山 蔦屋書店 KIDSコンシェルジュ 山脇陽子さんと、“読書が子どもに与える影響”についてトークショーを行いました。

イベントレポート

<代表理事 滝川クリステルによる企画説明>

保護犬・猫の認知拡大、譲渡促進を目指して活動を続けてきた中で、ずっと気になっていた読書犬の存在。コロナ禍におけるペットの飼育放棄のニュースに心を痛め、命の尊さを伝えたいとの思いを強くしたこと、そして子どもが生まれ、育児に励む中で本の読み聞かせの力を改めて実感したことがきっかけとなり、読書犬活動の開始に踏み切った事を熱く語りました。



<ふれあい教室>

読書犬活動を行う前に、犬との接し方を学ぶ、これは公益社団法人日本動物病院協会が従来より、大切にしてきた活動です。今回は、滝川が先生となり、4人の子どもたちに対し、犬との接し方についてレクチャーを行うふれあい教室を実施しました。中には日頃動物と触れ合う機会が少ない子もあり、ドキドキしながらも、終始興味津津の様子でした。



<公益社団法人日本動物病院協会 理事 吉田先生による読書犬の効果説明>

続いて、公益社団法人日本動物病院協会 理事 吉田尚子先生による読書犬の効果について説明が行われました。世界中で広まり多くの調査研究も発表されている読書犬活動、そして犬とのふれあいがもたらす子どもへの影響等を、獣医学的視点で説明しました。



<トークショー>

トークショーには、滝川に加え、モデルのSHIHOさん、そして、代官山 蔦屋書店 KIDSコンシェルジュ山脇陽子さんが参加。子育ての悩み、そして読書の大切さについて議論しました。朝が戦場、抱っこが大変、子どもの宿題のお手伝い等、ママトークは大いに盛り上がりました。読書離れが進んでいると言われる今、山脇さんが厳選した絵本3冊の紹介に、SHIHOさんも滝川も、真剣に聞き入っていました。



<読書犬デモンストレーション>

読書犬活動がどのような活動なのか詳しく紹介するために、読書犬活動のデモンストレーションを実施。吉田先生による、生解説が行われました。子どもたちを代表して、クリスティアーノくんが、読書犬サニーちゃんに読み聞かせを行いました。デモンストレーション中、2人は時折は目を合わせるなど、お互いを信頼している様子が伺えました。クリスティアーノくんの優しい読み聞かせにリラックスしたのか、最後にはサニーちゃんは横にごろんと寝転ぶ姿勢で読み聞かせの声にじっと耳を傾けていました。

ご協力いただいた皆様のご紹介

ご協力いただいた皆様はこの場を借りて心より御礼申し上げます。

共催：公益社団法人 日本動物病院協会



協力：代官山 蔦屋書店

蔦屋書店
TSUTAYA BOOKS



- ・SHIHO様
- ・山脇陽子様
- ・渋谷亜希様
- ・吉田尚子先生
- ・清水弥生様&サニーちゃん
- ・石川幸子様&パリスちゃん
- ・飯田かずな様
- ・ご参加いただいたお子様たち
- ・ボランティアの皆様

冊子の配布にご協力ください！

WELCOME PET CAMPAIGN

～ 保護犬・保護猫の福祉を向上させよう ～



WELCOME
PET CAMPAIGN
Christel Vie Ensemble Foundation



協力：公益社団法人日本動物病院協会



「保護犬・保護猫」を引き取って暮らす家族を増やすために、2015年5月から啓発冊子を配布している活動です。まずは、新しい家族を待っている「保護犬・保護猫」の存在を多くの人に知ってもらうこと、そして犬や猫を家族に迎える際には「保護犬・保護猫」という選択肢が当たり前になる社会を目指して、冊子を作成しています。第1版は2015年8月から、第2版は2017年5月から、第3版は2019年8月から、第4版は2020年12月から、第5版は2022年3月からそれぞれ約10万部を、全国の動物病院や各種施設、店舗様にご協力いただき配布しています。

現在も第5版の配布にご協力いただける方を募集しておりますので、店舗や各種施設、イベントなどで冊子の配布にご協力くださる方は事務局までご一報ください。（冊子代、送料などのご負担は一切ございません）

冊子の配布にご協力いただける方はメールにてご連絡ください。
info@christelfoundation.org

YouTube で配信中！

フォスターアカデミー

～ 動物ボランティアはじめませんか ～



犬猫の殺処分をなくすための保護活動において、絶対的に不足しているのがフォスターです。フォスターとは保護された犬や猫などの動物を自宅で一時的に預かるボランティアのことを指します。保護犬・保護猫が新しい家族に出会うまでの間、心身のケアを行いながら一緒に過ごす大切な役割を担います。またフォスターのサポートや自身の得意分野を活かして保護犬・保護猫のために活動する動物ボランティアも必要とされています。ご自身のライフスタイルに合った動物ボランティアをはじめませんか？

詳細や受講受付中の講座については、「フォスターアカデミー (<https://www.fosternet.org/>) 」とご検索いただき、ぜひご覧ください！

supported by ユニチャームペット

【2022年に公開した動画】

オンラインセミナー

- ・動物虐待事案に対する法的処置（細川敦史先生）
- ・動物ボランティアとしての関わり方と活動例（飛弾樹里さん）
- ・千代田モデルの取り組みと成果（香取章子さん）
- ・ペットの感染症対策（山本和弘先生）
- ・保護犬・保護猫と関わる心得（田辺アンニイさん）
- ・動愛法2019年改正～数値規制～（島昭宏先生）
- ・夏休み特別企画 子ども向け（吉田尚子先生）

アドバンスプログラム

- ・保護犬のトレーニング（有馬もとさん）
- ・助けが必要な野良猫に出会ったら（矢沢苑子さん）
- ・犬猫殺処分ゼロを目指すために（熊崎純子さん）
- ・持続可能な野良猫対策（亀山嘉代さん）
- ・ミルクボランティアとは（墨田由梨さん）



YouTubeで「フォスターアカデミー」と検索、もしくはこちらのQRコードからアクセス！

三越伊勢丹グループ労働組合様 特別講座 『フォスターアカデミーセミナー in キドックス』

2022年8月20日（土）に茨城県つくば市にある認定NPO法人キドックスを訪問しました。上山琴美代表理事から団体の活動について伺い、施設や保護犬のトレーニングのデモンストレーションを見学させていただきました。





ユニ・チャームペット様は「人とパートナー・アニマル（ペット）の共生社会を実現する」という理念をお持ちであり、共通理念を持っている当財団に対する支援協力を、今年も継続いただいております。

今年は、当財団が運営する保護犬猫支援基金への400万円のご支援をはじめとして、様々な形でご支援いただきました。

保護犬猫支援基金



SNSでの投稿を通じて寄附ができるキャンペーンを実施いただきました。そして、2021年に300万円、2022年には400万円、保護犬猫支援基金にご支援いただきました！

フォスターアカデミー
オンラインセミナー



2020年10月～フォスターアカデミーオンラインセミナーおよびフォスター実践向けのアドバンスセミナーの開催をサポートいただきました。

WELCOME PET CAMPAIGN



保護犬、保護猫の存在をより多くの方に知っていただき、引き取る選択肢が当たり前となる社会を目指すための冊子、「WELCOME PET CAMPAIGN」のスポンサーとして継続的にご支援いただいております！

ユニ・チャームペット様、いつも本当にありがとうございます。

保護犬猫支援基金

～保護犬・保護猫により良い医療を～

2021年7月、協力動物病院で医療行為を受けた**保護犬・保護猫の医療費から1頭につき5,000円の補助**を行う「保護犬猫支援基金」を設立しました。

①保護犬・保護猫の保護に尽力される方々の費用負担を軽減したい、②保護犬・保護猫が必要な医療をうけられることにより、彼らのアニマルウェルフェアの向上や譲渡促進につなげたい、との思いで運営を行っています。

実績

運営開始から2022年11月末までに、**396.5万円（793頭分）**を支出することができました。
内訳としては、保護猫約6割、保護犬約4割と、やや猫が多い結果となっています。

保護犬猫支援基金は、当基金の趣旨にご賛同頂いた**スポンサー様、協力動物病院様、そして飼い主のいない犬猫の保護に尽力されている皆様**の存在があって初めて成り立つ仕組みです。皆様のご協力に心より御礼申し上げます。

スポンサー

ユニ・チャームペット様
(ユニ・チャーム株式会社様)

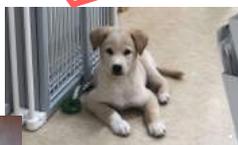
株式会社ニールズヤード
レメディース様

ユニ・チャームペット様の存在がなければ、当基金の設立に至ることができませんでした。企画段階より趣旨にご賛同いただき、運営開始から継続してお力添えいただいております。

動物愛護週間キャンペーンの売上の一部を継続的にご寄附いただき温かいご支援をいただいております。

協力動物病院

- あさか台動物病院（埼玉県朝霞市）
- いちかわ動物病院（千葉県松戸市）
- 家庭動物診療施設 獣徳会（愛知県愛知郡）
- さくら動物病院（長野県小諸市）
- JAMCシェルタークリニック（東京都渋谷区）
- 大師前どうぶつ病院（東京都足立区）
- なないろ動物病院（東京都文京区）
- ペットスペース&クリニックまりも（東京都世田谷区）
- らむ動物病院（埼玉県蓮田市）



使用者さんから「大変助かる！」との声をいただいております。

本当に助かっています。手続きもとても簡単でありがたいです。

医療費補助がない場合よりも1つ多くの処置に手が届くことも多く、本当に助かっています。

当財団のスポンサー（敬称略）

当財団の理念、活動にご賛同いただき、寄附によるご支援をいただいております。当財団の運営、活動の大きな支えとなっております。



豊島株式会社

オーガニックコットンブランド“オーガビッツ”やサステナブル素材の採用に賛同するアパレルブランドとのコラボレーションを通じて、当財団への支援を広げていただいております。

一般財団法人 ホシザキ新星財団

一般財団法人 ホシザキ新星財団

奨学金のご支援および奉仕活動を主とした財団法人で、2019年度より、Project Zeroの活動に多大なるご支援をいただいております。

WELCOME PET CAMPAIGNプロジェクトスポンサー（敬称略）

当財団唯一の紙媒体であるWELCOME PET CAMPAIGNのスポンサーとして、年間10万部発行の啓発冊子の作成・配布を支えていただいております。2023年3月には、第6版の配布を開始する予定です。



共立製薬

人と動物の明日をつくる

共立製薬株式会社

2015年発行の第1版よりWelcome Pet Campaignに継続してご支援いただいております。就職説明会ではPanel for Lifeのパネルも設置していただくなどご支援をいただいております



ディアペット
(株式会社インラビングメモリー)

ペットのメモリアル専門の企業様で、WELCOME PET CAMPAIGNに継続してご支援いただいております。またお店にPanel for Lifeパネルや絵本「きみには、きこえる？—コロのきもち—」もおいてくださっています。



もっと一緒に、ずっと一緒に。

ユニ・チャームペット
(ユニ・チャーム株式会社)

人とペットがお互いに支えあえる社会の実現を目指している企業様です。WELCOME PET CAMPAIGNだけでなく、保護犬猫支援基金、フォスターアカデミーそしてイベント等でのPanel for Lifeパネル設置など、様々なご支援をいただいております。

様々な形でご支援頂いている法人様（敬称略）

収益の一部のご寄附、イラストやデザインを通じたご支援、寄附付き商品の販売、SNSの啓発キャンペーン、自社の商品や媒体を通じた啓発など今年も様々な形でご支援いただきました。クリステル財団は、これからも形にとらわれず、新しいチャレンジを企業・クリエイターの皆様と続けていきます。



NEAL'S YARD REMEDIES
株式会社ニールズヤード
レメディーズ

従来、様々なキャンペーン活動を行っていらっしゃいます。その中で、「動物たちが心地よく暮らす世界」を目指し、動物愛護週間中のキャンペーンを通じて、2019年より、継続的に寄附をいただいております。



株式会社ミツウログループ
ホールディングス

「環境への配慮」や「負担軽減」の考え方に沿ったCSR活動のひとつとして、2017年から、継続してミツウログループで運営するショップ、カフェテリアおよびレストランにおいて募金活動を行っていただいております。



株式会社花やの六さん

「命」の象徴である「赤い花でまとめたpetit rose」という名のフラワーアレンジメントを季節ごとに制作・販売していただいております。そして販売を通じて、当財団にご寄附いただいております。



一般財団法人兵藤哲夫アニマル基金

獣医師の兵藤哲夫先生が設立された一般財団法人兵藤哲夫アニマル基金は、「動物愛」を集めてやさしい社会をつくる、をキャッチフレーズに動物愛護福祉活動を行う個人や団体を様々な角度からご支援されています。当財団にも継続してご支援をいただいております。



株式会社ボーダレス・ジャパン

ハチドリ電力は、地球環境に配慮し、CO2ゼロの100%自然電力です。電気代の1%は自然エネルギー発電所を増やすために使われ、電気代の1%が任意の社会活動に寄附されます。ご自宅、オフィスなどの電気をハチドリ電力に切り替えていただき、ぜひ当財団を寄附先にお選びください。



Oakキャピタル株式会社

継続的に、収益の一部を当財団の運営・活動に対するご支援としていただいております。また、社員の有志の皆様からも、ご寄附をいただいております。



三越伊勢丹グループ労働組合

従来、様々な社会貢献活動が行われている三越伊勢丹グループ労働組合様ですが、当財団の活動理念に共感いただき、2018年よりご支援いただいています。当財団の活動に役立つ支援品の寄贈、フオスターアカデミーセミナーの定期開催、そして当財団イベントへのボランティアとしての参加等、様々な形で多大なご支援・ご協力をいただいております。



株式会社タニタ

愛犬とお散歩しながら、自身の健康づくりをサポートする、ワンちゃんのイラストが描かれた活動量計「ワンコとお散歩活動量計」を販売されました。8000歩散歩することに5円が当財団に寄附されます。



株式会社エヴォワークス

2021年8月より、ECサイト「ワンコnowa」にて販売されているグッズの売上の一部をご寄附いただいております。「ワンコnowa」は、保護犬になる前・保護犬にさせないためにできることはないかとの想いで立ち上げられた犬の情報サイトです。ぜひご覧ください！
Instagram @wanko_nowa



株式会社産業経済新聞社

ECサイト 産経iDにおいて、寄附付きアクセサリーの販売をしてくださっています。また、2022年6月より、同じ産経iDにおいて、当財団の啓発絵本「きみには、きこえる？」の販売も開始しております。「産経iD クリスタル」で検索し、お買い求めください！



株式会社daicon

中山ダイスケ氏が代表を務めるアイデアとデザインのスタジオ。全ての財団ロゴ、フオスターアカデミー、WELCOME PET CAMPAIGN、アニマルウェルフェア サミット、Panel for Lifeなどのデザイン、およびアートディレクションをしていただいております。



株式会社ジョア

ユニフォームの企画・製造・販売を通して、SDGsの達成に向け積極的に取り組まれています。その中で、当財団と共同プロジェクト「アンサンブルプロジェクト」を行っています。「アンサンブルプロジェクト」のラベルがついた、環境に配慮した素材を使用したenjoie様製品1着の購入につき、100円を当財団にご寄附いただいております。



本棚お助け隊 株式会社ギギ

古本チャリティ募金の支援先団体に選んでいただいています。書籍、CDやDVDを「本棚お助け隊」にお売りいただき、支援先団体として当団体をお選びいただくと、査定額に10%上乘せられた金額が、当財団に寄附されます。



C'est du NANAN TOKYO

2022年より、オンラインショップで販売している御米菓子の売上の一部を寄附いただくことになりました。ただ美味しいだけでなく、食材は環境負荷の少ない方法かつ「フェアトレード」「アニマルウェルフェア」を重視して生産されたもの、かつ、可能な限り生産者から直接仕入る等、素敵なこだわりが詰まったお菓子です。
Instagram @nanan_tokyo



ヤフー株式会社

2021年6月始動のAnimal SOSプロジェクトでは、Yahoo! JAPANで「動物虐待+市町村名」と検索すると自治体の通報先が表示される仕組みを構築したヤフー株式会社様にプロジェクトパートナーとして参画していただいております。



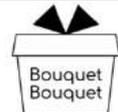
R Jewels Japan株式会社

日本で初めてフェアマインド認証ゴールドラベルの使用許可を取得した、ジュエリーブランド。持続可能な素材を用いたアクセサリーを制作されています。当財団とのコラボレーション商品も18KYGやSVを使い、手作業で制作をされています。



株式会社ギフトライフ

引き出物の新しいカタチとして「ウェブカタログギフト」を展開されています。カタログギフトのラインナップに、当財団への寄附を含めていただいております。ギフトライフ様のものは通常の冊子タイプではなく、カードタイプなので、お式の後もかさばらずともエコでスマートです。



BOUQUET BOUQUET

BOUQUET BOUQUET様には、動物たちへの思いを込めた、プリザーブドフラワーのBOX型のフラワーアレンジメントを制作いただいております。このコラボ商品の売上の一部を当財団にご寄附いただいております。



株式会社レザボア

2022年、デザイナーのChocomooさんとのコラボアイテムで、猫のイラストとともに、「(don't) let me down. (私をさげすまないで)」という動物目線のメッセージが入ったTシャツの売上の一部の寄附をいただくことになりました。ブランドを立ち上げたお二人は、動物愛に溢れた方々です！
Instagram @led.tokyo_official



アマゾンジャパン合同会社

「Voice of Change」プログラムの第一弾として当財団を選定いただきました。当財団初の音声での情報発信源となるポッドキャストは、現在新たな配信を休止しておりますが、活動紹介やゲストとの対談等様々なコンテンツを、Amazonオーディブル・Musicでお聴きいただけます。



株式会社FANTASTIC MAN TOKYO

伝統的な技法を用いつつ、どのようなスタイルにも合わせることができ、身につけた人の個性を引き出す洗練されたものづくりを追求しているジュエリーブランド。当財団とのコラボレーション商品もハンドメイドで制作をされています。

寄附付き商品を買って当財団の活動を支援する

ボルネオに住む動物たちを救う為に

ボルネオ島では、パーム油を生産する為のプランテーション開発により熱帯雨林が伐採され、野生動物たちが住処を失っています。日本はそのパーム油を多く消費していますので、これは決して遠い海外の問題ではありません。ボルネオ島に住む野生動物に恩返しをする為に、制作したアクセサリーの売上の全額（経費を除く）を認定NPO法人ボルネオ保全トラスト・ジャパンに寄附しています。



左) これまで寄附金は親を失った仔ゾウが生きていく為のミルク代3.5tに使用されました。
上) 新商品のプレスレットは、熱帯雨林再生のための育林・植林活動に充てられます。

【寄附実績】

累計 6,514,823円 (予定)
 2016年 771,272円
 2017年 979,664円
 2018年 1,369,000円
 2019年 1,022,195円
 2020年 1,416,852円
 2021年 333,680円
2022年 622,160円 (予定)



オランウータンやボルネオゾウをモチーフにしたK18YGのネックレス。アコヤパール使用のもの (税込 39,600円～)



K18YGと淡水パールを使用したピアス。オランウータンのもつ籠がゆらゆらと揺れます。(税込 52,800円～)



ゾウ、サイチョウ、オランウータン、熱帯雨林の木をデザインした新作SVプレスレット。(税込 8,580円)

ご購入方法

当財団HPの「Charity goods | チャリティグッズ」にアクセスいただくか、R Jewels Japan株式会社の公式オンラインショップ (<https://shop.r-jewels.com/>)、もしくは渋谷ヒカリエ1Fにあるお店「Theatreux」にて当財団とのコラボレーションチャリティジュエリーをお選びください。

コラボ商品を通じて当財団の活動をサポート



Animal Welfare,
No Cruelty
動物と共に心豊かに暮らす世界へ
2022.9.15(水)~26(日)

9月の動物愛護週間キャンペーンと、表参道本店で開催されたドッグフェスティバルの売上の一部を当財団へ寄附いただきました。2020年、2021年、2022年と、当財団の保護犬猫支援基金にご寄附いただいています！

販売場所：ニールズヤードレメディーズ各店舗、オンラインショップ



結婚式の引き出物などでよく目にする株式会社ギフトライフ様が提供するカタログギフトで、当財団へのご寄附をお選びいただけます。カードタイプなので、式のあとでもかさばらずスマートです。

提携先：ホテルオークラ東京、シャングリ・ラ ホテル東京など



書籍、CDやDVD等を等をお売りいただくと、そのお品物の査定額に10%分を上乗せした金額（本棚お助け隊の協力お礼金）が、当財団に寄附されます。年末の大掃除のタイミングにぜひ！

受付サイト：「本棚お助け隊 古本チャリティ募金」で検索！



ワンちゃんのイラストが描かれた活動量計「ワンコとお散歩活動量計」。1日8,000歩あたり5円（会員登録から40日間）が当財団に寄附されます。

販売場所：タニタオンラインショップ



赤を基調にしたフラワーボックス。1個につき250円が当財団に寄附されます。

販売場所：花やの六さんHP



オンラインショップで販売されている御米菓子。売上の一部が当財団に寄附されます。

販売場所：C'est du NANAN TOKYOオンラインショップ



プリザーブドローズを使ったオリジナルアレンジ。売上の一部が当財団に寄附されます。

販売場所：「bouquet bouquet クリステル財団」で検索！



個人として当財団を支援する

【買って応援！】当財団オリジナルグッズを購入する

ご自身へのご褒美、ご家族、恋人、友人へのプレゼントにもぜひ！
制作経費を除いた売上は、当財団の活動、運営のために大切に活用させていただきます。

財団オリジナルLINEスタンプ
とてもかわいい財団オリジナルスタンプ！



当財団の代表理事滝川が動物虐待のない世界を願って、初めて絵本の執筆にチャレンジしました。クラウドファンディングそして絵本制作にご協力いただいた「言葉を持たざる動物たちが置かれている現状を変えたい」皆様の思いが詰まった絵本です。

1,760円
(税込、送料別)



「Vie Ensemble」(共に生きる、一緒の命)が刻印されたネックレス。滝川が動物を思いデザインした一番最初のアクセサリです。チェーンは長めで、モチーフにはドッグタグがデザインされています。チェーンが太めのメンズ用もご用意しております。

SV 18,700円(税込)

ゴールドのネックレスに刻印されたメッセージ「Mercy」は、英語で慈愛。フランス語で一文字変えると「Merci(ありがとう)」に。二つの意味が込められています。

K18 39,600円(税込)



とても使いやすく、かわいい財団オリジナルLINEスタンプ。売上はすべて当財団への寄附となります！Instagramで注目を集めているPantoviscoさんに制作していただきました。

120円(税込)

LINEスタンプショップにて、クリエイターズから「**クリステル ヴィ**」でご検索ください！

「産経ID **クリステル**」で検索、もしくはクリステル財団HPトップページ中段の「Charity goodsチャリティグッズ」からお買い求めいただけます。

【寄附して応援！】個人として当財団に寄附する

ご支援者様のニーズに合わせて様々な方法でご寄附いただけます。皆様からの継続的な支援が大きな支えになっております！

プロジェクトサポーター ＜継続寄附会員＞

入会時に金額をご指定いただき、毎月同額を**クレジットカード引き落とし**にてご寄附いただけます。

当財団ホームページ「財団への支援」よりアクセスしてください。

スポットでのご支援 ＜単回寄附＞

単回で、**クレジットカード**、もしくは**銀行振込**にてご寄附いただけます。金額は、その都度任意の額をご指定いただけます。

当財団ホームページ「財団への支援」よりアクセスしてください。



YAHOO! ネット募金 JAPAN

Tポイント1円から承っております。使われていないTポイントのご活用、また毎月100円からの継続寄附も可能です！

当財団ホームページ「ネット募金」よりアクセスしてください。

Amazon pay、楽天Pay も使えます！



楽天ポイントが
使えます！

継続寄附、または単回寄附にてご支援いただく際に、アマゾンや楽天のアカウントに登録されているクレジットカード情報を使用できるようになりました。カード情報を改めて入力せずに、決済を完了することができます！



企業として当財団を支援する

法人寄附、Webやソーシャルメディアでの共同キャンペーン、寄附付き商品の制作等、様々な支援方法で支援できます。

現在進行中のプロジェクトをご支援いただけるスポンサーも募集しております！！

当財団ホームページ「財団への支援」からお問い合わせ情報をご記入ください！

【スポンサー・ご支援の一例】

- ◇継続的なスポンサー：運営を支えるメインスポンサーとして、当財団HPでのロゴ掲載や、ブログ、SNSにて共同キャンペーンの情報発信も行います。
- ◇プロジェクトスポンサー：Project Zero、Project Red、Project SOSなど特定のプロジェクトをご支援いただくスポンサー。社内でのセミナーなども実施いたします。
- ◇啓発のご支援：自社のメディアや広告枠、店舗などをご活用いただき、当財団プロジェクトの啓発を共同で行っていただきます。

クリステル・ヴィ・アンサンブルのHP・SNSから、最新情報をチェック！

当財団では、積極的にHPやSNSで情報発信を行っております。お好きなQRコードにアクセスして、ぜひフォロー、リポスト、リツイートなどを通じて、最新情報のチェックやシェアをお願いいたします！

公式フェイスブック	フォスターアカデミー	ウェルカム・ペット・キャンペーン
		

公式ツイッター



公式Instagram	Panel for Life
	

公式YouTubeチャンネル



財団HP



Animal SOS
Yahoo!ネット募金



当財団ではご家庭やオフィスに眠っている書き損じハガキや未使用の切手などの物品によるご支援も受け付けております。
お送りいただいたハガキなどは切手と交換し、通信費として大切に使用させていただきます。
その他にも金券やギフト券、等も受け付けております。
物品によるご支援をいただける方は、お手数ではございますが、当財団までメール
(info@christelfoundation.org) にてご連絡ください。

【お問い合わせ】 一般財団法人 クリステル・ヴィ・アンサンブル



Christel
Vie Ensemble
Foundation

【2022年12月 事務所を移転しました】
〒107-0051
東京都港区元赤坂1-4-21 4階B
電話/FAX：03-6447-2463
メール：info@christelfoundation.org

クリステル財団

検索

